野田小学校　校長室だより

ふじだな



No.76
令和８年 11 月４日
大阪市立野田小学校
校長　川辺　智久

一人一人が安心してすごせる学校をめざして ①

10月19日（月）から23日（金）まで、今年度２回目となる「いのち・いじめについて考える週間」を実施しました。自分も友達も大切にすること、互いの違いを認め合うこと、そして困っている友達のために自分に何ができるかを考えること。今回から３回に分けて、全校朝会と学級での取組みを紹介します。

■「違っていても、どうしたら一緒にできるかな？」

週の初めの全校朝会では、身近な「鬼ごっこ」を題材に、友達との違いについて考えました。

おはようございます。今日は、ある学校での休み時間のお話をします。



しょうたくんが友達の鬼ごっこに入りました。でも、みんなと同じ速さで走ることが難しく、友達から「遅いから、すぐつかまっちゃうよ」「しょうたが一緒だと、つまらなくなる」と言われてしまいました。みなさんは、しょうたくんはどんな気持ちだったと思いますか。

そのとき、１人の友達が言いました。「しょうたが一緒に遊べないんじゃなくて、今の鬼ごっこのやり方が難しいんじゃない？」。そこで、「鬼を２人にしてみる」「逃げる場所を少し小さくして、みんなが近くで遊べるようにする」など、みんなで遊び方を工夫すると、しょうたくんも一緒に楽しめるようになりました。

このお話で大切なのは、「できる人が、できない人を助ける」ということではありません。「どうしたら、みんなが一緒に楽しめるかな？」と考えることです。学校には、いろいろな友達がいます。得意なことも、苦手なことも、一人一人違います。だからこそ、「違うから一緒にできない」ではなく、「違っていても、どうしたら一緒にできるかな？」と考えてほしいのです。

今週は、「いのち・いじめについて考える週間」です。友達と過ごすとき、自分にできることは何か、一人一人が考えてみてください。みんなが安心して楽しく過ごせる野田小学校を、一緒につくっていきましょう。

走るのが速い子もいれば、ゆっくり走る子もいます。遊びが得意な子も、苦手な子もいます。そんな中で、みんなと同じ速さで走ることが難しい友達がいたら、どうするでしょうか。

「この遊びには入れない」と決めてしまうのか。それとも、「みんなで楽しむには、どうしたらよいだろう」と考えるのか。ほんの少し遊び方やルールを工夫するだけで、参加できる人が増え、みんなで楽しめる遊びに変わることがあります。



大切なのは、誰かに無理をさせて、みんなと同じようにさせることではありません。一人一人に違いがあることを自然に受け止め、その違いを前提に、一緒にできる方法を考えることです。

（※裏面に続く）

※「校長室だより」カラー版は、本校ホームページ「配布文書」にアップしています。

（※表面より）

■違いがあっても、一緒にできる方法を考える



学校生活の中には、鬼ごっこと似たような場面がたくさんあります。話合いで意見が合わなかったり、友達と活動の進め方が違ったり、得意なことや苦手なことが違ったりすることもあります。そんなとき、「違うから一緒にできない」と考えるのではなく、「どうすれば一緒にできるかな？」と考えてほしいと思います。

例えば、みんなと同じようにできない友達がいたとき、その友達だけにがんばることを求めるのではなく、活動の仕方やルールを少し工夫することで、みんなが一緒に楽しめるかもしれません。大切なのは、みんなが同じようにできることではなく、一人一人の違いを認め合い、みんなが気持ちよく参加できる方法を考えることです。

■相手の気持ちを考える１週間に

友達との何気ない会話の中でも、言われてうれしい言葉もあれば、嫌な気持ちになる言葉もあります。自分は冗談のつもりでも、相手は傷ついているかもしれません。同じ言葉でも、受け取り方は一人一人違います。だからこそ、「自分が言われたらどう思うかな？」「相手はどんな気持ちだったのかな？」と、相手の立場になって考えることが大切です。また、友達が困っているときには、見ているだけでなく、声をかけたり、担任に相談したりすることも大切な行動です。

今回の「いのち・いじめについて考える週間」を通して、子どもたちには、自分の言葉や行動を振り返るとともに、友達の気持ちを大切にすることについて、あらためて考えてほしいと思います。そして、一人一人が互いの違いを認め合い、誰もが安心して過ごせる野田小学校を、子どもたちと一緒につくっていきたいと思います。

次回は、学級での「いのち・いじめについて考える週間」の取組みを通して、子どもたちが友達との関わりをどのように考えたのかを紹介します。

のだっこ Diary

★子どもたちの学校生活のようすは、本校ホームページでも紹介しています。
随時更新していますので、ぜひご覧ください。

【ブロッコリー食育教室（４年生）】１０月８日（木）

大果大阪青果、ＪＡ長野の皆さんをゲストティーチャーとしてお招きし、４年生がブロッコリーについて学習しました。まずは、写真や資料を見ながら、ブロッコリーの育ち方や特徴について教えていただきました。子どもたちは「こんなふうに育つんだ」「知らなかった！」と驚きながら、興味深そうに話を聞いていました。続いて学習園に移動し、苗植えに挑戦しました。教えていただいたことを思い出しながら、苗をそっと土に植え、周りの土をやさしく寄せていきます。友達と声をかけ合いながら、丁寧に植える姿が見られました。植え終わると、「早く大きくなってほしいな」と成長を楽しみにする子どもたち。これから苗の成長を見守りながら、野菜を育てる楽しさや食べ物の大切さについて学んでいきます。











※「校長室だより」カラー版は、本校ホームページ「配布文書」にアップしています。